

プロポーザル評価表

1. 業務名

2. 所属事務所

3. 方式

4. 選定通知日

5. 特定通知日
- 令和8年度 四日市港海岸保全施設技術検討業務

名古屋港湾空港技術調査事務所

簡易公募型プロポーザル方式

－

令和8年7月7日

・同種業務: 海岸保全施設の設計を行った業務(実施設計を除く)					令和8年度 四日市港 海岸保全施設技術検討 業務沿岸技術研究セン ター・日本港湾コンサル タント設計共同体
評価項目			要件	ウェート	
配置 予定 管理 技術 者の 経験 及び 能力	資格要件	技術者資格	下記の順位で評価する。 ①技術士(総合技術監理部門(建設一河川、砂防及び海岸・海洋、又は建設一港湾及び空港)、建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋、又は港湾及び空港))、又は博士(工学又は学術)(但し、「学術」については「工学」に関連する研究分野に限る)を保有 ②RCCM(河川、砂防及び海岸・海洋部門、又は港湾及び空港部門)(港湾関係の実務経験が3年以上ある者とする)、土木学会認定土木技術者(上級又は1級技術者(コースA一流域・都市、又はコースB一海岸・海洋))又は海洋・港湾構造物設計士を保有 ③APECエンジニア(Civil、Structural又はIndustrial)又は土木学会認定土木技術者(特別上級、上級又は1級技術者(但し、②を除く))又は発注者が同等の能力と経験を有すると認めた者	15	15.00
	専門技術力	業務執行技術力	平成23年度以降公示日までに完了した同種業務の実績の有無について、下記の順位で評価する。 ① 同種業務の実績がある。	15	15.00
	専門技術力	業務執行技術力	令和4年度以降令和6年度末までに完了した全地方整備局、国土技術政策総合研究所及び沖縄総合事務局(いずれも港湾空港関係)発注業務の同じ業種区分(建設コンサルタント等)の請負業務成績評定点の平均点。	44	41.00
	専門技術力	業務執行技術力	令和4年度以降令和6年度末までに完了した中部地方整備局(港湾空港関係)発注業務のうち、「建設コンサルタント等業務」において、優良業務技術者表彰および担当した業務の優良業務表彰の有無、「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」により認定・表彰された港湾空港関係の業務「建設コンサルタント等業務」における「海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣賞」又は「海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣奨励賞」の有無、または中部地方整備局(港湾空港関係)の災害協定等に基づく災害活動実績「建設コンサルタント等業務」に係る局長表彰(感謝状)又は事務所長表彰(感謝状)の有無。	6	6.00
					77.00
実施方針・実施フロー・工程表・その他			業務理解度	20	12.00
			実施フローの妥当性	20	12.00
			工程計画の妥当性	20	13.33
			その他	20	9.33
					46.67
特定テーマ 海岸保全施設の新たな工法・構造に係る資料を取りまとめるにあたっての着眼点と具体的な取りまとめ方法			業務目的との整合性	40	26.67
			着眼点、問題点、解決方法等の論理的整理・業務への有効性	40	29.33
			説得力	40	24.00
			提案内容の裏付け	40	24.00
					104.00
WLB(ワーク・ライフ・バランス)推進企業			①次のいずれかの認定を受けている場合に評価する。 1) 女性活躍推進法に基づく認定等(プラチナえるぼし・えるぼし認定企業等) 2) 次世代法に基づく認定(プラチナくるみん・くるみん(令和7年4月1日以降の基準)・くるみん(令和4年4月1日～令和7年3月31日までの基準)・くるみん(平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準)・くるみん(平成29年3月31日までの基準)・トライくるみん(令和7年4月1日以降の基準)・トライくるみん(令和4年4月1日～令和7年3月31日までの基準)認定企業) 3) 若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定企業) ②認定を受けていない	2	2.00
					2.00
合 計					229.67

※合計値において四捨五入のため、各項目の合計とは整合しない場合がある。